



あけましておめでとうございます。長いお休みでしたが楽しいお正月を過ごされたのではないのでしょうか？年末年始は買い物に行ったり帰省されたり初詣に行ったりと子どもたちにとって嬉しいことがいっぱいあったことでしょう。そんな子どもたち、エネルギーを充電できたようで、園には笑顔と元気な声が響き、活気にあふれています。今年も笑顔いっぱいの毎日になるよう、ご家庭の協力に感謝しながら園生活を送りたいと思います。

今年も素敵な年でありますようにお祈りします。どうぞよろしくお祈りします。

《生活リズムを取り戻そう》

お正月休みに楽しい経験をたくさんしてきた反面、食へ過ぎや夜更かしなどで生活リズムが崩れていませんか？まずは、早寝早起きの規則正しい生活習慣を心がけましょう。園でも寒い時期ですが、戸外で元気いっぱい体を動かし、病気に負けない体づくりをしていきたいと思います。

《お正月遊び》

1月はお正月遊びをします。羽根つきやたこあげ、かるた、こま回しなどを楽しみます。こうした経験を通して伝統的な遊びのよさを子どもたちに伝えていきたいです。

1月から3月は・・・

普段なら寒さが厳しい時期ですが、心なしか暖かい空気に和らぎを感じます。いよいよ1年間のしめくくりの時期です。子どもたちはさまざまな行事や出来事を通して大きく成長し、頼もしく感じるようになりました。これからは友だちとの関わりを通してさらに「育ち合える」といいなと思います。

特にたいよう組さんは、春には小学校の門をくぐります。大きく羽ばたいていく子どもたち、残りの園生活を楽しく過ごせるように大切に見守っていききたいと思います。

《高津川を観て》

年末、友人と何年ぶりでしょうか？喫茶店でおしゃべりをしました。そこで友人が「映画の錦織良成監督知ってる？」と言うので「うん」と答えると友人が「錦織監督は私の平田高校の先輩で演劇部で一緒だったよ、今、高津川という映画をやっているからよかったら観に行っておいてほしい」というので、暮れも押し迫った日に一人で映画を観に出かけました。

高津川は吉賀町から益田市に流れるダムが一つもない“清流日本一”のきれいな川です。高津川のきらきら光る水面は人々に寄り添い流れています。そんな高津川のそばで暮らす人々が自然体で描かれています。人口減少が激しく小学校では最後の運動会が開催されました。でも、地元の人と人との絆は強いです。人々は伝統芸能である神楽を守っていて、神楽の舞にみんなが集います。石見神楽がここでは深い根っこを張っていて、人々が引き継いで守ってきています。人から人へと引き継がれるところに文化が生まれます。豊かな人間が育ちます。錦織監督の描こうとしているものは国や人種、性別を問わず普遍的な故郷です。都会にいながらも故郷を思う心を大切にしたいと想い続ける・・・そんなことがテーマのように思います。最後に主演男優の甲本さんが「映画は、脇役ができる名俳優さんに支えられてできている」と言われたことが印象に残りました。

～映画パンフレットより～

幸せとは そこにずっとあるものでした

日々何気なく過ごしていると忘れてしまう大事なこと

当たり前そこにあった日々が何よりも大切なものだったと

人を繋ぐこと 人を想うこと 誰かの特別な話ではない どこにでもある特別な日々

「大切な誰かがいる」「守りたい物がある」 そんな全ての人へ・・・。

(著 園長 田中)